

県生協連 NEWS

●発行：徳島県生活協同組合連合会

●発行日 2012年1月17日 (No.16)

●住所：徳島県板野郡北島町中村字東堤の内30-3

●電話・FAX：088-698-3910

●HP :<http://tokushima.kenren-coop.jp/>



徳島県学校生活協同組合

写真には写っていませんが、屋上には5.4kwの太陽光発電パネルが設置されています。

目次

- p 1 新年のごあいさつ (徳島県生活協同組合連合会：代表理事会長 阿部和代)
- p 2 会員報告 徳島県学校生活協同組合、徳島県共済生活協同組合
- p 3 会員報告 徳島健康生活協同組合
- p 4 会員報告 生活協同組合コープ自然派徳島、徳島県職員生活協同組合
- p 5 会員報告 徳島大学生生活協同組合、生活協同組合とくしま生協



謹んで新春のお慶びを申し上げます

徳島県生活協同組合連合会 代表理事会長 阿部和代

2012年の年明け、みなさまはどのようにお迎えになりましたでしょうか。

昨年は私たちが人生で遭遇するとは考えても見なかった規模の大震災と津波、それに続く原子力発電所の爆発事故で、多くの方が一瞬にして長年積み上げてきた普段の暮らし、日常をうばわれました。まだまだ、復興とは程遠い状況のなかで迎えている新しい年ではございますが、この間、確かめ合うことのできた命の大切さ、生きることの喜び、助け合い協力する力を支えに、今年こそ光の見える年にしたいものです。

おりしも2012年は国連の定めた「国際協同組合年」です。昨年末は、ヨーロッパの政府債務危機の広がりが大きな問題となり、アメリカの景気回復の遅れともあいまって、世界経済の減速、社会不安の増大が心配されています。日本でも、円高、債務危機が景気に影を落として、7月から9月期のGDPが下方修正され、10月の完全失業率は4.5%、東日本大震災の被災県では7.5%と暮らしの不安が広がっています。

こうした中、迎えた国際協同組合年をどのような年にしていくかということが、私たち協同組合運動にたずさわる者にとって問われていると思います。

国連の国際協同組合年決議の背景には、社会開発における協同組合の役割、金融・経済危機における協同組合の耐久力の評価、国連ミレニアム開発目標、とりわけ極度の貧困と飢餓の撲滅に向けた協同組合のとりくみへの期待があり、より大きな目線では新しい市民社会の形成にむけて、非営利組織の協同組合への期待があります。

昨年の大震災では、その直後から協同組合のつながりが大きな力を発揮して、物資の輸送、人的支援、募金と全国がひとつになってとりくんできました。引き続き、暮らしの復興のために力を合わせたいと思います。

世界から、人類の未来への期待も込めて提起された、この国際協同組合年を実りあるものにするために、徳島県生協連加盟8会員生協が力を合わせ、この徳島で協同組合の役割にふさわしくその事業と運動を前進させるため努力したいと思います。



本年もどうかよろしく願い申し上げます。

○徳島県学校生活協同組合

〒770-0874 徳島市南沖洲5丁目7-65
TEL 088-664-3225 FAX 088-664-4332
ホームページ <http://tokugaku.jp/>
●理事長 久保修 ●専務理事 山下敏光
●組合員数 8,235人 ●事業高 2.7億円

PIGSを他山の石とせよ

一国にとって国家の経済破綻ほど深刻なことはない。PIGSと呼ばれている、ギリシャ、アイルランド、ポルトガル、イタリア、スペインの財政危機はユーロ導入国だけでなく、全世界を揺るがしかねない事態に発展している。野放図な国債発行のつけが膨大な公的債務残となり、自国だけで再生できない状況になっている。それがグローバル経済の中で、全世界の経済に深刻な影響を与えている。

翻って考えてみると、我が国の政府債務は対GDP比で約218%と突出して高い。アメリカの2倍である。危機的状況にあるPIGS全体でも120%である。財政規律が完全に失われている。いつ破綻してもおかしくない財政的危機状況に既に達している。

財政再建は我が国にとって、まったなしの緊急を要する最重要課題である。今こそ、断固とした財政再建策をスピード感をもって実行に移さなければならない。

これができなければ、現世代だけでなく後世にまで取り返しのつかない禍根と負債を残すことになる。財政再建には国民の多大な痛みをともなう施策が求められる。しかし、これに耐え乗り切らなければ明日の日本はない。

消費税増税は避けて通れない。社会保障費・医療費などの負担増、年金などの給付水準の引き下げも必要である。これ以上国債を乱発することは絶対に避けなければならない。

しかし、これを断行するには今、地に落ちている政治に対する信頼の回復が必須の条件である。国会議員の定数を思い切って削減する（たとえば半分にする）。歳費（給料）・ボーナスの

カット、公設秘書の削減（今の3人を1人にする）で範を示さなければ国民は絶対納得しない。ボーナスだけでも年間640万円を上回っている（たとえばこれを0にする）。月100万円にも達する文書通信滞在費も0円にする。

地方の財政も国以上に悪い、道州制の導入は即実施に移すべきである。狭い四国に4人の知事・議員は必要ない。これで大きなむだの削減になる。

（理事長 久保修）

○徳島県共済生活協同組合

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1
TEL 088-625-2340 FAX 088-625-2131
ホームページ <http://www.zenrosai.coop/>
●理事長 川越敏良 ●専務理事 岡村睦喜
●組合員 114,206人 ●事業高 0.3億円

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、徳島県共済生活協同組合並びに全労済徳島県本部の運営と事業の充実・拡大に、徳島県生協連加盟団体役員を始め、各団体組合員の皆さん、多くの県民・市民の方々に多大なご支援とご協力をいただきました。

心から感謝を申し上げますとともに、新しいこの一年が、皆さま方にとって幸多く、飛躍の年になりますことをご祈念申し上げます。

昨年は、東日本大震災を始め、大規模な自然災害に見舞われた一年となりましたが、そのなかから、ひとりで生きられないこと、地域の絆や家族・仲間の絆が大きな励みになり、これを日ごろから築くことの大切さとともに、日頃からの防災・減災への備えなど、多くのことを教えられました。

徳島県共済生協は各県共済生協とともに、連合会を結成し、「全労済」として全国展開しておりますが、大震災をはじめとする自然災害からの完全復旧・復興を全面的に支援して、共済金・見舞金を最後の一人までお支払いするとともに、防災・減災の観点から、「住まいと暮らしの防

災・点検運動」を展開し、災害に対して日頃から認識して備えることとともに、生活再建の立場から十分な保障となっているかどうかを見直していただこうと考えています。

そして、今年には国際協同組合年です。私たちは、「協同組合がよりよい社会を築く」という立場で、全労済などを含む協同組合の事業展開によって、社会の貧困の撲滅や格差の是正に大きな役割を果たすことをすべての組合員・県民にアピールし、協同組合運動にご理解をいただき、積極的に参画をいただけるよう努めてまいります。

そして、命と健康、住まいや車など、ライフサイクルに応じた生活保障設計運動を展開して、可処分所得を確保し、組合員の皆様の生活の安定に寄与するため、全労済徳島県本部の全役職員が一丸となって取り組んでまいります。

本年も皆様方の引き続いてのご支援とご指導賜りますようお願い申し上げます。

(理事長 川越敏良)

○徳島健康生活協同組合

〒770-8547 徳島市下助任町4丁目9

TEL 088-654-8363 FAX 088-625-0058

ホームページ <http://www2.tcn.ne.jp/~hcoopt/>

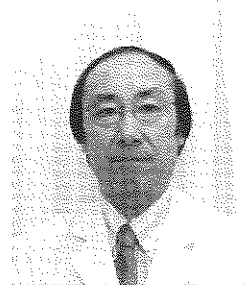
●理事長 岡島文男 ●専務理事 楠藤義朝

●組合員 42,318人 ●事業高 40.6億円

国際協同組合年の年、組合員を中心により生協らしく

新しい年明けです。徳島健康生協は昨年、創立50周年という一つの区切りをむかえる事ができました。皆さんに深く感謝申し上げます。

昨年3月11日に発生した東日本大震災では、多くの方々がお亡くなりになりました。心よ



り哀悼の意を表すものです。同時に発生した福島原発事故の放射線漏洩によって重大な被害が今もなお続いています。

私たちは震災直後からの医療支援活動や水・燃料・野菜などの支援物資を現地に届ける活動を行いました。さらに被災地の生協組合員の仲間へ心を寄せて取り組んだ義援金・支援金は約1千万円に上りました。それらの支援金は東日本の被災住民と医療福祉生協に贈られ、放射線測定器購入などに役立てられています。被災地の支部では「放射線安全地域マップ」の作成運動を行い、住み続けられる安全を確保しながら復興のための懸命な努力が行われています。徳島県生協連のみなさんもそれぞれに支援活動に取り組まれました。こうした取り組みはまさに「生活協同組合」の理念であり、私たち徳島健康生協設立の精神そのものです。これからも東日本の大切な仲間のために長期的な支援を協力してすすめてみましょう。

昨年、健康生協は創立50周年記念行事として「五十年史」の編纂、映画「いのちの山河」の上映、「健康まつり」の3つの記念事業を行いました。「五十年史」の編纂ではこれまでを振り返る事で、運動や歴史を再確認し、映画上映会では、約半世紀前に老人医療費の無料化、乳児死亡率ゼロを実現した岩手県旧沢内村の住民と村長の奮闘に健康生協の運動が重なり、感動を呼び、「誇りと、力がわいてきた。」と組合員から感想が多く寄せられました。そして「健康まつり」は、今年迎える「国際協同組合年」のプレ企画として県生協連の皆さんと協力して取り組むことができ、大きく成功させることができました。組合員実行委員会で準備を進める事で、組合員の主体性が大いに発揮され、生協らしく組合員の底力を証明した50周年事業となりました。

「国際協同組合年」の今年、組合員を中心により生協らしく前進できる年になるよう奮闘しますので、本年もどうかよろしく申し上げます。

(理事長 岡島文男)

○生活協同組合コープ自然派徳島

〒770-0873 徳島市東沖洲 2-43-3

TEL 088-679-6781 FAX 088-664-8820

ホームページ <http://www.shizenha.ne.jp>

●理事長 環滋子 ●専務理事 北岡徹

●組合員数 12,182人 ●事業高 11.8億円

「生活協同組合コープ自然派しこく」が設立します。

新年明けましておめでとうございます。

2012年4月1日、四国4県をエリアとした新生協「生活協同組合コープ自然派しこく」が事業スタートします。コープ自然派は1991年に徳島が認可・設立し、1993年にオーブ(香川)・1995年こうち・2000年にえひめが認可・設立しました。そして4生協は四国・関西の生協でなる生活協同組合連合会コープ自然派事業連合の会員生協として、統一のカタログで組合員の供給活動を行い、組合員及び職員間の人事・交流、交換理事等を進め、生協の理念、目的なども共有してきました。

先行きの見えない経済状況、世界でも例のない超高齢化社会、そして必ず起こると警告されている南海大地震などを想定し、コープ自然派の四国4生協は、10年後を見据えた新しい展開にチャレンジします。これまで取り組んできた事業基盤の確立を進め、組合員サービスの向上を図り、組合員の協同の力で持続可能な地域社会の発展に貢献していくために「生活協同組合コープ自然派しこく」として努力していきます。

☆ 組合員4万人、供給高40億円を超える規模の生協をめざします。

☆ 少子高齢化による人口減少が続く四国において、社会福祉事業の展開に取り組みます。

☆ 安全でより良い商品を普及させ、安定した事業基盤を確立し、四国地域の経済発展と雇用に貢献できる生協をめざします。

☆ 広域の生協として自然災害や大事故などによるリスクを最小限に抑えると共に、緊急

時の対応体制を確立します。

☆ 持続可能な社会を実現するために環境負荷の少ない自然エネルギーを四国地域で推進します。

「生活協同組合コープ自然派しこく」をよろしくお願いします！

(専務理事 北岡徹)

○徳島県職員生活協同組合

〒770-8570 徳島市万代町1丁目(県庁内)

TEL 088-621-3061 FAX 088-624-0170

●組合長 高橋徹 ●専務理事 松浦博

●組合員数 3,986人 ●事業高 3.1億円

新年、おめでとうございます。

戦後すぐの丑年、昭和24年の8月に産声を上げた私たち徳島県職員生活協同組合は、すでに還暦を過ぎ、どの組合員よりも高齢となりました。また、県内の各生協さんの中でも最古参の部類だと思っております。

その歴史を紐解いてみると、発足以来、毎年拡大拡張を続け、平成2年には組合員数が約5千人、平成4年には事業高が約10億円と、それぞれのピークを記録しましたが、その後は、ずっと右肩下がりで、事業所の廃止や事業部門の閉鎖などを経て、現在の姿(県庁舎11階の食堂と地下の売店、県立3病院の売店)に至っております。

また、昨今、国内のみならず世界的に、政治的・経済的に閉塞感が強く漂う中で、当生協の基本理念でもある「公務員である職員の福利厚生」に対して、非常に厳しい向かい風が吹いております。

加えて、今、本県では、県政運営の指針「いけるよ!とくしま行動計画」の七つの基本目標の一つ、「安全安心・実感とくしま」の実現に向け、地域医療再生の拠点として、県立の3病院(中央・三好・海部)すべての建替計画が進行中です。

特に、県立中央病院は、本年秋には、新しい

病院がオープンする予定であります。新病院の売店の方向性については、現時点では徳島県病院局の方針が明らかになっておりませんが、患者さんの視点や最近の新病院の傾向からは、コンビニ型のサービスが必須と思われます。

そうした観点からすると、本年は当生協にとって、大きな転換点の年になるのではないかと考えており、「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残るのは、変化できる者である。」とのダーウインの言葉をかみしめる年頭です。

本年もどうかよろしくお願いいたします。

(組合長 高橋徹)

○徳島大学生生活協同組合

〒770-0814 徳島市南常三島1丁目1

TEL 088-652-1073 FAX 088-626-5811

ホームページ

<http://ha1.seikyoku.ne.jp/home/tokushima-shop1/>

●理事長 仙波光明 ●専務理事 清水麻理子

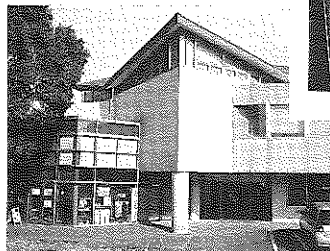
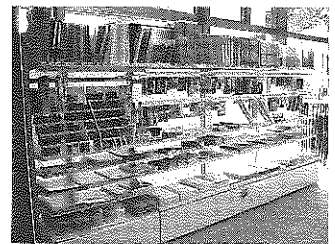
●組合員 10,514人 ●事業高 12.2億円

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

昨年10月徳島大学常三島キャンパス東側の工学部エリアにオープンした新店舗「ミニショップEmi*re(えみり)」を紹介いたします。

「工学部エリアにも生協ショップがほしい」という長年の組合員の想いによようやく実現することができました。店舗の愛称やロゴマークは組合員さんから公募し、理事・学生委員会で構成された新店舗タスクと工学部長と話し合い成功しました。“Emi*re(えみり)”は、“E”はエンジニアリング(工学部)の頭文字、“Emi”は笑顔のえみ、“re”はリピート、繰り返して来たらう、という意味を持っています。非常に狭い店舗なので、提供メニューはすべてテイクアウト対応にしています。工学部特有の文具や日用品の棚は“近くて便利”と学生に喜ばれています。

小さい店舗ですが、組合員の憩いの場、大学生活を支えるお店に育てていきたいと思っております。



(専務理事 清水麻理子)

○生活協同組合とくしま生協

〒771-0289 北島町中村字東堤の内 30-3

TEL 088-698-0505 FAX 088-698-8872

Eメール webmaster@tokushimaseikyoku.or.jp

ホームページ <http://www.tokushimaseikyoku.or.jp>

●理事長 阿部和代 ●専務理事 梶原樹

●組合員数 97,513人 ●事業高 97.0億円

新年明けましておめでとうございます。

昨年は未曾有の大震災が発生し、多く尊い命と営々と築いてきた財産が一瞬にして奪われて

しまいました。被災された皆さんに心からお見舞い申し上げます。とくしま生協も発災後、微力ながら物的、人的支援を行いました。組合員から寄せられた義援金は2千万円を超え、少しでもお役にたてればと思っています。引き続き年度末まで義援金を受け付けています。

さて、年末にインドを訪問し、マハトマ・ガンジーの慰霊碑に刻まれた碑文「7つの社会的大罪」を紹介された野田首相はしきりにうなずいていましたが、何とも皮肉なことです。7つの社会的大罪は「理念なき政治」「労働なき富」「良心なき快楽」「人格なき学識」「道徳なき商業」「人間性なき科学」「献身なき信仰」と訳され、1番目は「理念なき政治」です。民主党は公約で「消費税は上げない」「ハツ場ダムのような無駄な公共事業はしない」「普天間基地は県外移設」などと言っていました。その公約にみんな期待したから、政権をとれたのではないですか。今の政治は大罪の1番目に当たりませんか？

政府は社会保障と税の一体改革と言っていますが、「社会保障の充実を口実に消費税を上げるよ」としか聞こえません。そもそもこの組み合わせはヘンです。国家財政を考えるなら支出と収入のバランスを考慮しないとイケません。社会保障費のほか公共事業費や防衛費などいろんな支出をどうするかです。財源に限りがあるわけですから、大砲にしますかバターにしますか、それとも高速道路ですか。何を重点にするかを論議すべきです。収入も、何も税金は消費税だけではありません、所得税や法人税や他にもいっぱいあります。なぜ消費税なのかまともに説明もされていません。

89年4月1日より導入された消費税は22年間で224兆円になります。一方89年当時40%だった法人税率は現在30%で、このことによる減収は208兆円です。また、88年当時最高税率60%であった所得税も今は40%になっています。日本の財政危機は大企業や高額所得者への行き過ぎた優遇も原因の一つです。財政危機だと言うのなら、まずこの優遇を改めるべきです。それでも財源が足りないな

ら、消費税ではなくより公平な制度である所得税を上げるべきです。

消費税は政府も認めるように、所得の低い人ほど負担率が高い弱い者いじめの不公正税制で、今回の税率アップの議論にあたって「給付付き税額控除」で配慮するとか……。震災で被災して仕事を失い所得がなくて困っている人や、景気が悪くて失業中の人や、まだ所得の少ない若い世代を直撃する増税は「理念なき政治」そのものではないでしょうか。

今年は国際協同組合年です。生協への期待も高まります。少しでも組合員の厳しいくらしのお役にたてるように、協同の力を強くしていきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いします。

(常勤理事 細川尚光)

